# 大　屋　式

## 坪刈試験用小型脱芒脱穀機取り扱い説明書

### (ＰＭ型)

### (一株用　小型エンジン付)

合名会社　　大屋丹藏製作所

事務所　：〒452－0055　愛知県清須市西枇杷島町北二ツ杁74番地
　　ＴＥＬ（052）501-1867　　ＦＡＸ（052）501-1877
工　場　：〒452－0064　愛知県清須市西枇杷島町旭2丁目73番地
　　ＴＥＬ（052）501-2821
ＵＲＬ　：http://www.ohyatanzo.com
e-mail　tanzo@mpd.biglobe.ne.jp

# 本機の特長

① 迅速に脱穀、脱芒ができ、従来の千歯扱きに比べ大幅な時間短縮ができます。

② 作業は1人でも容易にできます。

③ 小石等の混入は極めて少なく、後の作業、又は機械への影響はありません。

④ 小型エンジンの採用により、軽量です。

⑤ 手提げ式である為、移動が容易にできます。

# ※安全上のご注意※

火災、怪我などの事故を未然に防ぐ為、ご使用前に必ずこの取り扱い説明書を全て熟読し、
本機の知識、安全の情報等を習熟してから、本書に従って正しく使用して下さい。

⚠危険　取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、死亡又は重症を受ける可能性が想定される場合。

⚠注意　取り扱いを誤った場合に、危険な状況がおこりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、及び部的損傷だけの発生が想定される場合。

## ⚠危険

●本機への注油、又は点検、及び補修作業等をされる時は必ずエンジンスイッチをOFFにしてから行って下さい。

●本機はガソリンを使用するので、火気を近付けたり、火気のある場所での使用は絶対に、しないで下さい。

●エンジンは高温になりますので、近くに燃え易いものがある時は取り除いてから使用して下さい。

●ガソリンの注入時は必ず付属の給油漏斗(Ｐ6を参照)を用いて給油して下さい。

## ⚠注意

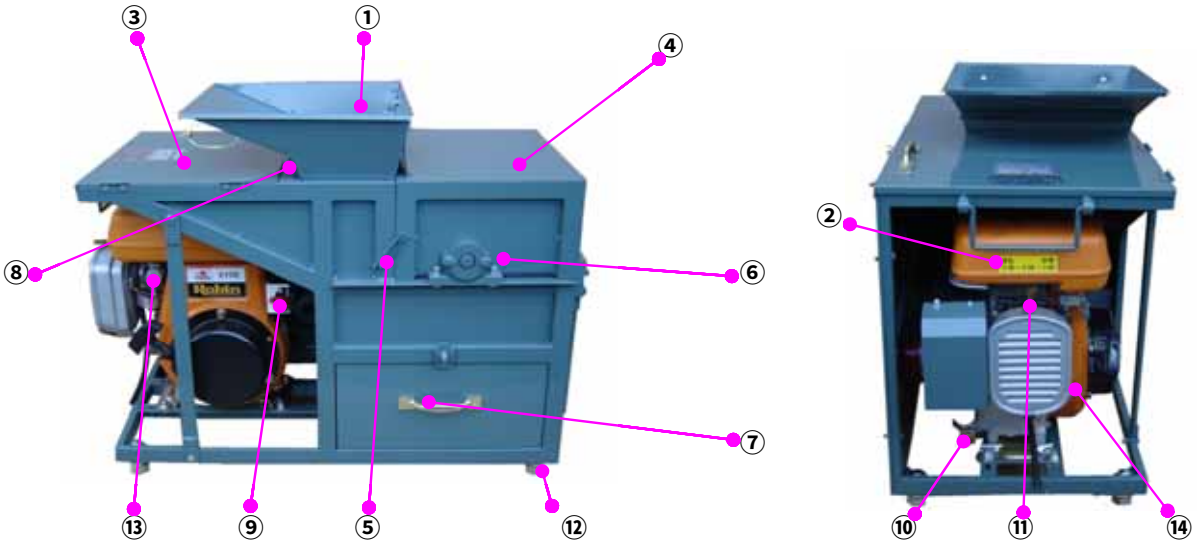
●お客様による本機の改造は、当社の保証範囲外ですので、責任は負いません。

●本機の扱胴は小さく、高速で回転するので作業時は十分注意して下さい。

●本機は突起した部分がある為、十分に注意して下さい。

●本機は排気ガスが出るので密室や換気の悪い所での使用は避けて下さい。

# ◇各部名称◇




| № | 名　　称 | 説　　明 |
|---|---|---|
| ① | 脱穀扱き口 | ここから1株ずつ資料をいれて下さい。 |
| ② | ロビンエンジン | 詳しくは、ロビンエンジン取扱説明書をよく読んで下さい。 |
| ③ | 燃料注入口カバー | カバーを開けると燃料注入口があります。 |
| ④ | 扱胴カバー | このカバーは⑤のフックを外し、上へ引っ張ると開きます。<br>扱胴を掃除する時等に使用して下さい。 |
| ⑤ | 扱胴カバー止めフック | 本機を作動する時は、必ずこのフックは掛けて下さい。 |
| ⑥ | 扱胴 | 作業が終了したら④のカバーを開け、掃除をして下さい。 |
| ⑦ | 資料受箱 | 受箱を止めるフックは必ず掛けて下さい。 |
| ⑧ | 脱穀板、脱芒板 | 作業目的によって変えて下さい。 |
| ⑨ | エンジンON,OFFスイッチ | エンジン始動時にONにして下さい。 |
| ⑩ | エンジンオイル注油口 | ロビンエンジン取扱説明書P9をよく読んで下さい。 |
| ⑪ | チョークレバー | 気候が寒い時、又はエンジンの冷えてる状態から始動、<br>する場合は、全閉にします。<br>気候が暖かい時、又は運転停止直後の暖まったエンジン<br>を再始動する場合は、全開もしくは半開にして始動します。 |
| ⑫ | 安定調整ボルト | バランス良く上げ、安定後はナットをロックして下さい。 |
| ⑬ | 燃料コックレバー | レバーを0に向けると、燃料が通じ、Sにするとコックが閉じます。 |
| ⑭ | エンジンレバー | レバーを上げると低速になり、下げると高速になります。 |

## 本体仕様

| 名　　称 | 全長(㎜) | 全幅(㎜) | 全高(㎜) |
|---|---|---|---|
| 本　　体 | 670 | 370 | 490 |
| 扱　　胴 | 190 | 190 | 135 |
| 資料受箱 | 260 | 280 | 125 |
| Vベルト | A-38 x 2本 | | |
| 扱胴回転数（rpm） | 1000 MAX | | |
| 総重量（kg） | 35 | | |

## エンジン仕様

| 名　　称 | 全長(㎜) | 全幅(㎜) | 全高(㎜) |
|---|---|---|---|
| EY08BN形 | 252 | 264 | 326 |

| 形　式 | 空冷4サイクル立形側弁式<br>ガソリンエンジン |
|---|---|
| 総排気量cm³(cc) | 77.6 |
| 連続定格出力(kW{ps}rpm) | 1.0{1.4}/1800 |
| 最大出力(kW{ps}rpm) | 1.5{2.0}/2100 |
| 回転方向 | 右（出力軸側より見て） |
| 使用燃料 | 自動車用無鉛ガソリン |
| 燃料タンク容量(ℓ) | 1.5 |
| 点火プラグ | NGK,BM4A |
| 始動方式 | リコイルスタータ式 |

## 作業手順

1　作業開始前に各部の点検及び給油を行い、燃料コックレバーを"0"の位置に合わせ、エンジンスイッチをＯＮにしてチョークレバーを全閉（P4⑪参照)にしエンジン回転調整レバーを少し"高"の方向に動かして下さい。そして始動グリップを勢いよく引いて、エンジンの暖機運転をして下さい。

2　エンジンの回転が安定してから、資料を投入して下さい。
※資料を入れる際には、藁の巻き込みに十分注意して下さい。

3　脱穀扱き口に調査株を入れ、脱穀又は脱芒をします。1株ずつ終わりましたら、脱穀板、又は脱芒板を引き抜き、扱胴内の籾塵芥と藁屑を下に出して下さい。

4　資料受箱を引出し、資料を取り出したら、受箱を戻し脱穀板又は脱芒板を差し込んでから次の資料を入れて下さい。

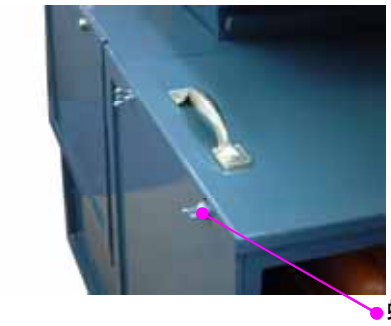
5　全ての資料が終了しましたら、扱胴カバーを上げて扱胴の掃除をして下さい。掃除が終わったら、カバーを戻してフックを掛けて下さい。

6 ⚠　シーズンが終了し、長期使用しない時は各部の掃除及びエンジンの手入れをして下さい。
尚、**ガソリンは必ず抜いて下さい。**
※エンジンの手入れについては、ロビンエンジン取扱説明書を参照して下さい。

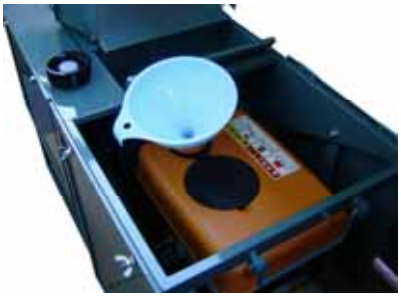
## ガソリンの給油方法

※注意　　必ずエンジンスイッチは、OFFにしてから給油して下さい。

①資料扱き口カバーを上にあげます。



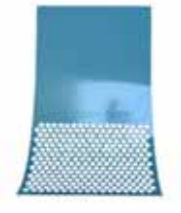

②蝶ネジを緩めカバーを上に上げます。
※蝶ネジは、外さず緩めるだけでカバーは開きます。紛失しない様に注意して下さい。



③エンジンの燃料タンクキャップを緩めて外し、給油漏斗を燃料注入口に差し、ガソリンを入れて下さい。

## 付属部品一覧

● 資料扱き口カバー
出荷時には、このカバーは取り付いていませんので
取り付けて下さい。



● 脱穀板
刈り取った資料を脱穀する時に使用して下さい。

● 脱芒板
脱穀した資料を脱芒する時に使用して下さい。

## 付属品一覧

● オイルホース
注油やオイル交換時に、注油ポンプに
差して使用して下さい。

● 注油ポンプ
注油やオイル交換時に使用して下さい。

● プラグレンチ
プラグの掃除又は交換時に使用して下さい。

● スパナ、六角レンチ
エンジンや本体の手入れの時に使用して下さい。

● 給油漏斗
ガソリン給油時に使用して下さい。
※ガソリンを給油する時は、溢したり入れすぎない様に
十分注意して下さい。

● 取扱説明書
ロビンエンジンの説明書です。
※しっかり読んで下さい。